

社会資本総合整備計画チェックシート

(街なみ環境整備を中心とした計画)

計画の名称: 伊賀市中心市街地のにぎわいの再生

市町村名: 伊賀市

チェック欄

| I. 目標の妥当性 | |
|--|---|
| ①上位計画等との整合性が確保されている。 | ○ |
| ②景観形成を図るべき地域として位置付けられている又は位置付けられる予定である。 (地域名称等: 伊賀街道・大和街道沿線、寺町地区) | ○ |
| ③地域の住宅・建築ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。 | ○ |
| ④地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。 | ○ |
| ⑤緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 | ○ |
| (該当するものに○) ア 老朽化した住宅ストックの更新 イ 安全面、衛生面等の居住環境の改善 ウ 子育て世帯、高齢者、障害者等の居住の安定の確保 エ 既存住宅ストックの有効活用 オ まちなか居住の推進カ 地方定住の推進 キ 住宅・建築物の安全・安心確保 ク 良好な住環境の整備 <input checked="" type="radio"/> 地域の特色ある街並みの整備 コ その他(地域の实情に応じた緊急性の高い課題を記入) | |
| | |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。 | ○ |
| ②十分な事業効果が得られることが確認されている。 | ○ |
| ③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。 | ○ |
| ④地域の实情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。 | ○ |
| | |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ①事業熟度が十分である。 | ○ |
| ②計画内容に関し、住民に対する事前説明が行われている。 | ○ |
| ③事業の実施に当たり、自治会、商店組合など地元組織との連携が図られている。 | ○ |
| ④計画期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。 | ○ |
| | |

※ 記載例であり、上記の全ての事項について検証を義務付けるものではない。